



えんげく
図書館美術館

気軽にアートを楽しむ「図書館美術館」

皆さんは最近、自宅に美術品を飾ったり、美術館に出かけるなど、暮らしの中に美術（アート）を取り入れていますか。

「アートは少し敷居が高い」と感じる方もいるのではないのでしょうか。

「図書館美術館」は、暮らしの中で誰もが気軽に訪れる図書館に美術作品を置くことで、アートに触れるきっかけをつくり、またアートのある空間でリラックスして読書を楽しむ時間をつくることをコンセプトにしたものです。

図書館は美術関連の書籍も多く所蔵しています。展示をきっかけに、美術について学ぶこともできます。

「図書館美術館」をお楽しみください。

小口 益一

作品展のご案内

2019.1.10 - 2019.2.19

塩尻市立図書館 本館

〒399-0736 塩尻市大門一番町12番2号

TEL 0263-53-3365（水曜日休館）

<https://www.library-shiojiri.jp/>

◆小口 益一(1918-2009)

クレープリントという独自の技法を考案した版画家。

1918年大阪市生まれ。父の出身地である塩尻(当時は宗賀村)に出生届を出す。1946年、床尾に転居。1954年にクレープリントを創案した。

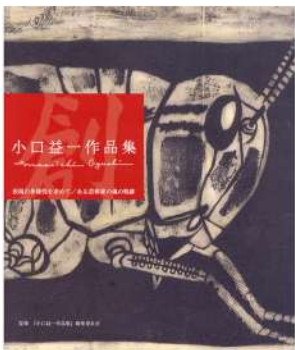
初期の作品は「平出ポスター」、「本山宿」、「土器をつくる人」など塩尻を題材にしたものが多い。1955年、平出ポスターが中信美術展商業美術部門会頭賞を受賞、1957年に「土器をつくる人」(5枚1組)が長野県信州美術会賞を受賞。その後も、数々の美術展入選を果たした。

晩年は、茨城県竜ヶ崎に転居し、平成21年に91歳で永眠。



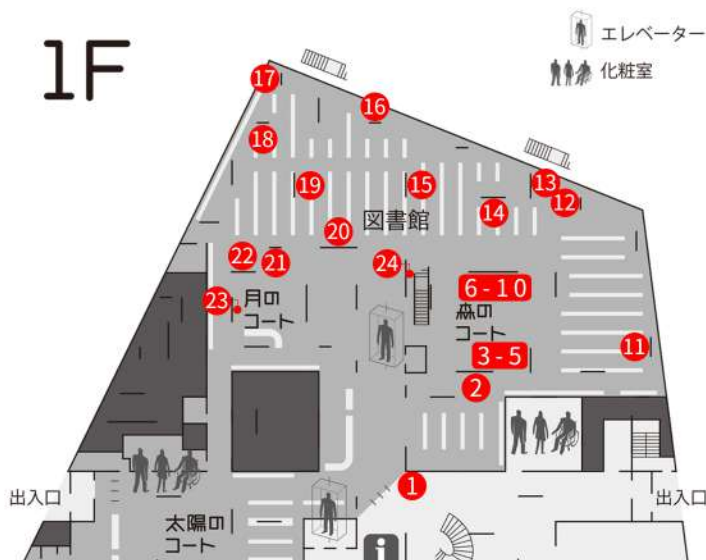
小口 益一氏(自宅にて)

◆書籍



- ・小口益一作品集(2010年)
作/小口 益一
監修/『小口益一作品集』
編集委員会監修
出版/さきたま出版会
- ・版画 その技法と地域文化
への拡がり(1985年)
著/小口 益一
出版/さきたま出版会

◆会場案内



作品タイトル

No.	タイトル	制作年	技法	サイズ(縦×横)
1	母娘(親子)	1958	クレープリント	57×40
2	原子人立像		コラグラフ	80×117
3	土器をつくる人	1957	クレープリント	36×30
4	土器をつくる人	1957	クレープリント	36×30
5	土器をつくる人	1957	クレープリント	36×30
6	石の人	1998	拓本	130×50
7	石の人	1998	凹版	130×50
8	石の人	1998	クレープリント	130×50
9	石の人	1998	凹版	130×50
10	石の人	1998	クレープリント	130×50
11	黒い月	1962	クレープリント	38×30
12	白のかたち	1968	クレープリント	70×46
13	埋もれたかたち		型へ流し込み	91×66
14	マンダラ		シルクスクリーン	50×50
15	横たわる女		シルクスクリーン	40×59

No.	タイトル	制作年	技法	サイズ(縦×横)
16	抗議	1957	クレープリント	36×30
17	猛獣つかい	1957	クレープリント	29×37
18	仮面達	1959	クレープリント	30×41
19	埋もれた女	1956	クレープリント	24×15
20	埋もれたかたち	1958	クレープリント	31×38
21	記念碑	1958	クレープリント	20×28
22	水のかたち			92×66
23	埋もれたかたち			92×63
24	魚	1958	クレープリント	30×39
25	白のかたち	1968	クレープリント	52×37
26	鳥の舞	2005	コラグラフ	41×53
27	石の記憶B	1964	クレープリント	34×48
28	増殖する版の世界	1962	クレープリント	52×38
29	文字マンダラ		クレープリント	55×40
30	埋もれたかたち	1965	クレープリント	30×40

※No.1~24は1階、No.25~30は2階に展示しています。